

平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震について

平成20年06月14日（15:50）現在
官 邸 対 策 室

1. 地震の概要（気象庁）

- (1) 発生日時 平成20年06月14日 08時43分頃
- (2) 震央地名 岩手県内陸南部（北緯39度01.7分、東経140度52.8分）
- (3) 震源の深さ 8 km
- (4) 規模 マグニチュード7.2（推定）
- (5) 各地の震度（震度5強以上）
 - 震度6強 岩手県奥州市衣川区
宮城県栗原市一迫
 - 震度6弱 岩手県奥州市胆沢区
宮城県栗原市築館・高清水・金成等、大崎市古川三日町・鳴子等
 - 震度5強 岩手県北上市二子町、一関市山目、平泉町平泉、奥州市水沢区・江刺区・前沢区
宮城県涌谷町新町、栗原市若柳、登米市南方町、宮城美里町木間塚、大崎市松山、名取市増田、仙台市仙台宮城野区苦竹等、利府町利府
秋田県湯沢市川連町、東成瀬村椿川・田子内
- (6) 津波 この地震による津波の心配なし
- (7) 余震情報（15:00現在）
 - 震度1以上の余震136回
 - 最大余震09:20、マグニチュード5.6

2. 被害状況（未確認情報を含む）

- (1) 人的被害（死者3名）
 - 岩手県 死者2名（地震で飛び出しトラックに轢かれた、ダムの落石）、軽傷8名（警察庁14:40）
 - 宮城県 重傷3名、軽傷71名（警察庁14:40）
 - 秋田県 重傷1名（消防庁13:40、警察庁14:40）
 - 山形県 軽傷1名（消防庁13:40、警察庁14:40）
 - 福島県 死者1名（土砂崩落）（警察庁13:50、消防庁13:40）
- ※このほか
 - ・宮城県駒ノ湯温泉で、建物の一階部分が倒壊し、7名（宿泊客2名、従業員3名、経営者の家族2名）が生き埋め→宮城県警レンジャー5名が現場で捜索活動中。（警察庁14:59）。自衛隊が前進中（防衛省15:00）
 - ・宮城県栗原市の花山本沢水無地区において、土木作業員が3名行方不明。生き埋め

の可能性大（警察庁 14:18）

- ・宮城県栗原市花山で土砂災害で車 1 台埋もれている（消防庁 11:04）
→女性 1 名救出済（軽傷）、男性 1 名救助中。（消防庁 12:25）
- ・仙台空港でバスの乗客がけが（重傷 5 名、軽傷 18 名）（消防庁 11:30）
- ・岩手県 R397 においてマイクロバス 1 台（20 人乗り）が斜面を 30m ほど落下、
重傷 6 名、軽傷 4 名を自衛隊ヘリで搬送中（警察庁 14:50）
- ・駒の湯温泉西 10 km で車両が埋まっているのを確認。→現在救助のため自衛隊が
前進中（防衛省 14:40）
- ・栗原市花山地区温湯温泉白糸の滝に架かる橋から 2 人が転落したとの目撃情報（警
察庁 14:50）

（孤立情報）

- ・岩手県一関市祭時（マツルベ）付近で、80 人孤立状態（消防庁 10:55）→今後ヘリ
で搬送予定
- ・岩手県一関市須川温泉で従業員・客 100 人程度孤立（消防庁 11:50）
→11:00 避難開始（消防庁 11:50）
- ・宮城県栗原市いわかがみ平登山口で 60 人孤立をヘリが発見、隊員 1 名を現地へおろ
して花巻空港へ帰投。給油後、再度現場に向かう（消防庁 11:40）
→自衛隊ヘリ 1 機により救助中（防衛省 14:40）
- ・R342 号矢櫃（ヤビツ）ダム周辺で、祭時（マツルベ）大橋の損傷により 19 名孤立、
警察・消防が対応中（警察庁 12:35）
- ・花山湖北 10 km で 3 名が救助要請→自衛隊ヘリが前進中（防衛省 14:40）

（2）建築物被害

- ・岩手県 半壊 1 戸（警察庁 14:40）
- ・宮城県 一部破損 5 戸（消防庁 13:40）
- ・山形県 一部損壊 2 戸（警察庁 14:40）
- ・火災 宮城県仙台市 1 件
岩手県金ヶ崎町 2 件（消防庁 09:45）

（3）交通遮断状況

（鉄道）

- ・東北新幹線（仙台～八戸）・秋田新幹線（盛岡～秋田）運転見合わせ（国土交通省 13:00）
- ・山形新幹線運転再開（JR 東日本 13:54）
- ・仙台～古川、一関～水沢江刺間で、はやて・こまち 1 号、やまびこ 46 号など新幹線
計 3 本が停止
→仙台～古川間で停止中のはやて・こまち 1 号（旅客約 1000 名）、はやて・こまち 4
号（旅客約 750）は、徒歩にて近くの保守用出入口に誘導してバスにて救済予定
→一関～水沢江刺間で停止中のやまびこ 46 号（旅客 302 名）は、11:39 に徒歩にて
旅客を約 1 km 離れた保守用出入口に誘導し、バスにて救済中
(国土交通省 13:30)

- ・仙台市地下鉄 全線で運転見合わせ（警察庁 10:10）

（道路）

- ・岩手県 道路損壊 6 ヶ所、狭量損壊 2 ヶ所（警察庁 14:40）

- ・秋田県 道路損壊 1ヶ所（警察庁 14:40）
- ・岩手県 R 3 4 2 で崩落多数、崩落箇所の中に車（約 19 名）孤立→無事確認（警察庁 12:30）
- ・落橋（国道 3 4 2 号の「まつるべ大橋」、岩手県一関市巖美町）

（海上航路）

- ・航路標識の被害状況なし（海上保安庁 14:40）

（4）ライフライン等の状況

- ・原発：女川 1～3号機、東通、福島第一 1～6号機、福島第二 1～4号機 現在までの所異常が確認されていない（経済産業省 13:00）
- ・福島第二 4号機使用済燃料プールで合計 4 リットルの水の飛散。プラント共用のサイトバンカ建屋で合計 15 リットルの水の飛散あり。なお、両施設からの外部への漏洩は確認されず。（経済産業省 13:00）
- ・停電：東北管内で 14 時現在約 2, 038 戸（経済産業省 15:00）
- ・岩手県で水道管破裂 1 箇所（警察庁 09:30）
- ・断水：（13:00 現在 厚生労働省）
 - 岩手県 550 戸
 - 宮城県 55 戸
 - 秋田県 195 戸
- ・宮城県内で一部電話不通（95 加入電話）、岩手県・宮城県方面の通信規制解除（総務省 14:00）
- ・東北地方で携帯電話基地局（3社 9 基地局）が停波中（総務省 14:00）

3. 政府の主な対応

- ・ 08：50 官邸対策室設置、緊急参集チーム招集
- ・ 08：50 総理指示 被災状況の早期把握と迅速な広報及び被災者等ある場合、救助に全力を挙げること

（緊急参集チーム確認事項）

1. 岩手県内陸南部を震源とする地震について、県や市町村と一体となって、被害状況を早急に確認し、速やかな救出・救助活動に全力を尽くす。
2. 広域に及ぶ被害が確認された場合には、緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊、自衛隊の災害派遣による被災地への広域応援を行い、必要に応じ増援し、被害の状況に応じて万全の体制を期する。
3. 引き続き、県や市町村との的確な連携を図りながら、政府一体となって適切に対応する。

- ・ 11：38 政府調査団（団長：防災担当大臣）出発、13：35 現地着陸

- ・ 15：25 総理指示 被災者を今日中に救出できるよう全力をあげる

4. 各省庁の活動状況

（情報収集活動等）

- ・陸自ヘリ5機、偵察隊、海自固定翼機2機、ヘリ2機、空自固定翼機3機で偵察活動を実施中（防衛省 10:40）
- ・海保 船艇25隻、航空機11機による沿岸部被害状況調査の結果、沿岸部に被害を認めず（海上保安庁 14:20）

（広域応援等）

（1）緊急消防援助隊（消防庁）

緊急消防援助隊 陸上部隊 183部隊、航空部隊 14機 出動（消防庁 15:00）

（2）広域緊急援助隊（警察庁）

- ・広域緊急援助隊（福島県警、埼玉県警、警視庁、山形県警、青森県警、新潟県警、茨城県警、栃木県警、群馬県警、千葉県警、神奈川県警、山梨県警、長野県警、静岡県警の計 270名 が出発）が岩手県、宮城県に向け出発（警察庁 15:00）
- ・千葉県警ヘリ花巻空港に向け 13:59 出発（レンジャー6名搭乗）

（3）災害派遣（防衛省）

- ・ 10:50 岩手県知事より第9特科連隊長に災害派遣要請
- ・ 11:00 宮城県知事より第6師団長に災害派遣要請

（活動中の部隊）

陸自 2個ヘリ部隊、2個偵察隊、2個連隊、1個大隊、1個施設団

海自 3個航空群、1個教育航空隊

空自 2個航空団、2個救難隊

人員260人、車両約80両、航空機14機（防衛省 15:20）

（4）特殊救難隊等（海上保安庁 15:25）

- ・特殊救難隊1隊、機動防除隊1隊派遣
- （ヘリ計 4機 派遣）

（5）DMAT（厚生労働省 15:30）

- ・DMAT（災害派遣医療チーム）35 チームが出動
- ・千葉県ドクターヘリが被災地にて活動中
- ・福島県ドクターヘリが被災地にて活動中

（6）緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）（国土交通省）

- ・ 14:10 本省から現地に向け 19名 出発
 - ・ 応急対策班（無人化施行機械）派遣済み（国土交通省 14:55）
- その他8名はヘリにより出発済み

5. その他

08:43 宮城県・岩手県・秋田県災害対策本部設置（消防庁 10:20）